

アーバンスポーツの振興に寄付した協和ダンボールの高木社長(左)、東栄製紙工業の高木社長(中)と小坂市長(右)＝恵那市役所で



アーバンスポーツ振興に

恵那の2社市へ計100万円

スケートボードなどアーバンスポーツの普及振興に活用してほしいと、恵那市長島町の協和ダンボールと東栄製紙工業が、市に50万円ずつ、計100万円を寄付した。市役所で25日に贈呈式があった。

市は市民から要望を受けて3月、長島町のふれあいエコプラザの駐車場の一部をアーバンスポーツができ

るよう整備しており、小坂喬峰市長は寄付に感謝した。

協和ダンボールの高木良直社長(60)は「スケートボードは五輪競技にもなっている。良い環境の中で選手が育ってくれたら」と期待を寄せ、東栄製紙工業の高木應浩社長(59)は「チャレンジする場所をつくることで地域振興や青少年育成にもつながる」と話した。

(石川才子)